

例題

点A、点Bがあります。

∠A=60° となる線分を作図してください。



解答例 (コンパスと定規で作図)

点Aと点Bの2点間の距離を半径として、

交点Aを中心として、円Aを描きます。①

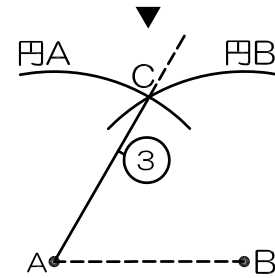
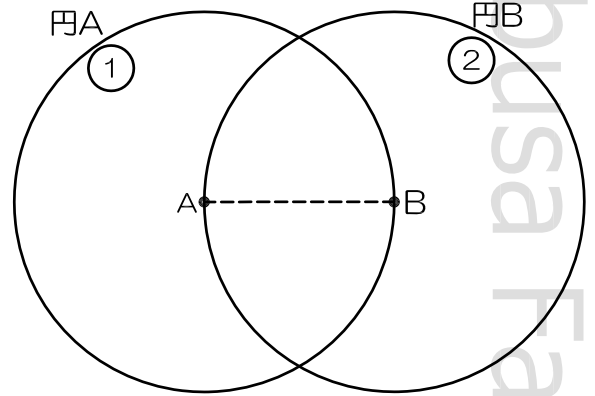
交点Bを中心として、円Bを描きます。②

円Aと円Bとの交点をCとします。



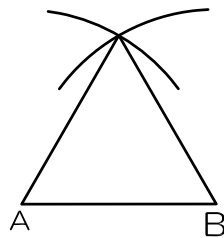
点Aから点Cを通過する半直線 l を描きます。③

∠CABが60° です。



ヒント

点A、点Bを底辺とした正三角形の頂点を作図する要領です。



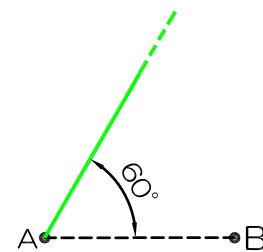
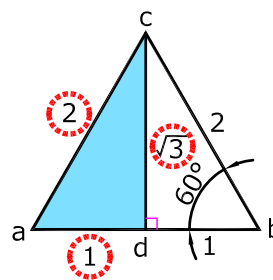
コマンドを使って作図

正三角形の3つの角は等しく60°です。

底辺=1、高さ=√3、斜辺=2の関係があります。

相対座標入力で、60°の角を作図することができます。

(√3 = 1.732050)



<例> [線分] コマンドで、線分長30単位として60°の角を作図します。

コマンド： [作成] ⇒ [線分]

1点目を指定： 始点位置までカーソルを移動してクリックします。①

次の点を指定： @15,25.98と入力します。(15= (斜辺の距離) ×0.5 25.98= (斜辺の距離) ×0.866)

または

@30<60と入力します。

[Enter] キーを押します。

つづいて [Enter] キーまたは [Esc] キーを押します。②

